

暴拳の企図(1)

栄一は、海保塾に寄宿しながら千葉道場にも通い、広く交友を求めて活動しました。これは何か事ある時に頼りになる人物を今から募っておきたいと考えたからでした。武士になりたい、国事に奔走したいという思いが深まる一方だったようです。

思えば、その発端は、十七歳の時の岡部陣屋での経験にあります。この時、栄一は、父の名代として岡部陣屋に赴き、御用金を申し付けられますが、応対に出た役人に散々に愚弄されます。農民である自分と武士である役人との間には、厳然たる身分の違いがあり、百姓はどこまで行っても百姓ではない。こうした世の中の現実を深く傷つくとともに、世の中を革新したい、変革しなければならぬ



▲岡部陣屋長屋門
現在は、岡にある全昌寺に移築・改築されていますが、かつての格式の高さが伝わります

という思いもまた、大いに喚起されたのでした。
文久二年(一八六二)正月、栄一たちの身にも関係する大事件が起こります。時の老中安藤信正が江戸城坂下門外で襲われたのです。この時襲撃に加わったのは、長七郎の親友である河野願三をはじめとする大橋訥庵門下の六名の者で、いずれも斬り死にしました。これ以前、長七郎は、長州の多



【第5回】

賀谷勇とともに、輪王寺宮門跡公現法親王(のちの北白川宮)を擁して日光山に挙兵することを画策していましたが、実現に至らず、安藤襲撃に加わる予定となっていました。惺忠と栄一は、長七郎を説得、首謀者である大橋訥庵にも掛け合い、一味に加わることを断念させます。幕府の探索の手が長七郎の身にも及びことを察知した栄一たちは、急ぎ長七郎を佐久の木内芳軒の元まで落ち延びさせます。長七郎はその後京坂方面にまで足を伸ばし、情勢を探ることになります。
この文久二年の二月、栄一と千代の間には長男市太郎が生まれますが、八月には亡くなっています。(文：新井慎一)

物語の手引き

『坂下門外の変』
桜田門外の変で大老・井伊直弼が暗殺された後、江戸幕府の実権を握った老中・安藤信正が、江戸城坂下門外で倒幕を志す水戸浪士ら6人に襲撃された事件。安藤信正は、桜田門外の変で失墜した江戸幕府の威厳を取り戻すため、孝明天皇に、妹の皇女・和宮を将軍・家茂に嫁

がせるようお願いしました。この婚姻により、幕府と朝廷の関係を深め、協力して政治を行おうとする動きに対し、反幕府派の怒りをさらに買うことになりました。安藤信正は、桜田門外の変の教訓から護衛を増やしていたため一命は取り留めましたが、その場から逃れた不名誉を追求され、老中職を解任されてしまいます。

※本コーナーの全編を通じて、登場する人物については、歴史上の人物としてその敬称を略します。また、年齢については、当時の通例に従い数え年の表記とします。

キラリ熱・中・時・間



しづか 沢沢敦雄 さん

描くことで思いを伝える

子どもたちに「郷土の偉人・沢沢栄一」を知ってもらおうと、油絵で栄一の生涯を描いている沢沢敦雄さん。これまで手に掛けた作品は11年間で32点。栄一の生涯を記した小説から、イメージを膨らませています。出来上がり想像し、その中に間違いがないか、時代背景を徹底的に調べるそうです。「子どもたちに間違った歴史を伝えるわけにはいかない」と、教育的な視点も大切にしています。

に、栄一翁をもっと強く感じてもらえるのではないかと考えたそうです。その気持ちは徐々に膨れ上がり、退職後に噴き出しました。3〜4年のうちに、一気に23点を描き上げました。
現在、33作目を構想中の沢沢さんは最後にこう話してくれました。「今はまだ、作品が子どもたちの目に触れる機会が少ないかもしれない。それでも形に残すことで、未来にわたって栄一翁の生涯に触れる機会となってくればうれしいです。」

ある日、学校に飾られている栄一のモノクロ写真を見て、「カラーで表現すれば、子どもたち



▲自身が手掛けた作品「油絵で見る沢沢栄一の生涯」に囲まれるアトリエで

ありがとうの手紙



優秀賞
小学校低学年の部
つかごしさんへ

川本北小学校3年 小久保理詠 さん
つかごしさんは、明戸駅で十一年間はたらい回しました。朝、学校へ行く時「おはよう。いってらっしゃい。」と言ってくれました。つかごしさんは、わたしがようち園の時、なき虫だったことを知っています。
たいしょくの日「いっぱい勉強するんだぞ。強い心を持ってがんばれ。」と言ってくれました。わたしはなみだがポロポロ出ました。
つかごしさん、今までありがとうございました。

夫婦道のススメ

接点を広げる楽しみ



圓岡 茂夫さん (78歳)
すみ子さん (81歳)

内ヶ島にお住まいの圓岡さんご夫妻は、結婚52年目。共働きで教職30年近くを支え合いながら勤め、退職後は、健康第一、前向き思考で日々を過ごされているそうです。
写真や音楽が好きで、アクティブに活動されるお二人は共通点も多く、家庭での会話も尽きないとか。
夫婦円満の秘訣は、「違い=個性」と受け止め、お互いの個性を認め合いながら、接点の幅を広げることだそうです。